

愛媛県西条西警察署協議会会議録
(令和5年度第1回)

日時	令和5年6月6日（火）午後3時05分～午後4時55分		
出席者	1 警察署協議会側 会長以下8人 2 警察署側 署長以下10人		
議 			

議 事			官の活躍を通じて知名度を高め、採用募集活動に繋げてほしい。
			給与等の待遇面での向上も必要ではないかと思う。
			具体的な指示伝達や早めの相談を指導する側から持ち掛けることが大切であり、仕事上のコミュニケーションは上の者が作るべきだと思う。
			やりがいを感じられる職場づくりに努め、新規採用者に対して家族同様に大切に接することで、離職が減ると思う。
概 要	4	業務推進結果、業務推進計画の説明 令和5年2月から5月末までの業務推進結果、令和5年6月から9月末までの業務推進計画について、各課長が報告、説明した。	
	5	質疑応答、意見要望等	
	(1) 交通部門		
	【質疑】	自転車の違反が摘発された場合、赤切符が適用されて、罰金を支払うことになる」と報道されているが、自動車との差異を教えてほしい。	
要 要	【回答】	自転車は運転免許が不要なため、交通反則切符（青切符）の対象とならず、交通切符（赤切符）の適用となる。 違反摘発に当たっては、信号無視などの悪質な違反を繰り返す自転車利用者や警察官の警告に従わず違反を継続する自転車利用者には交通切符を適用して違反を摘発し、検察庁に送致することとなる。	
	(2) 警備部門		
	【要望】	西条市では国際交流協会に外国人対応の相談窓口を置いているが、警察の相談窓口はどこになるのか。	
	【回答】	一般的な相談窓口で対応しているほか、県警には「外国人支援連絡協議会愛媛」が設けられており、西条市には西条ブロック支部（西条西署、西条署）があり、警備課が西条ブロック支部の事務局となっている。	
要 要	(3) 協議会会長による感想		
		地方での採用活動は、都市圏への人材流出を背景に厳しさを増している。また、最近の若年層は「貢献感」と「成長実感」が仕事を選ぶ基準となっているようである。警察でも、地域の特性や若者の特徴・傾向に応じた効果的	

な方策を講じて人材確保に当たってほしい。

6 その他

会議に出席した委員は、鑑識係員から鑑識活動要領の説明を受けた後、指紋採取体験を行った。

7 添付資料

○ 警察署協議会の実施状況の写真



警察署協議会の開催状況



指紋採取の鑑識体験状況